

## 医療救護活動訓練の実施について (令和7年度東京都・新島村合同総合防災訓練)

### 1 訓練全体の概要

#### (1) 目的

- ① 東京都、新島村及び防災機関などによる実動に即した訓練を実施することで、各機関の島しょ地域における災害対応能力及び各機関の連携力の向上を図る
- ② 新島村住民主体の津波避難訓練、避難所設置運営訓練、救出救助機関などによる救出救助訓練、展示体験訓練などを実施することで、新島村住民の防災意識の醸成を図る

(2) 実施日 令和7年11月15日(土曜日)

#### (3) 参加機関

東京都、新島村、警視庁、自衛隊、海上保安庁、東京消防庁、指定(地方)公共機関、協定事業者、地元消防団、村民 等

(4) 参加規模 約1,500名

### 2 医療救護活動訓練の概要

#### (1) 想定

令和7年11月15日(土曜日)、南海トラフ地震(M9クラス)が発生し、新島村においては最大震度6弱を観測。家屋倒壊等により多数の傷病者が発生した。

#### (2) 参加機関

新島村(本村診療所・さわやか健康センター・村役場)、島しょ保健所大島出張所、地方独立行政法人東京都立病院機構(広尾病院)、日本赤十字社東京都支部、公益財団法人献血供給事業団、陸上自衛隊、海上自衛隊、都立新島高校、東京都保健医療局

#### (3) 訓練項目

	項目	内容
1	医療救護所設置訓練	トリアージエリアの設立等
2	トリアージ訓練	負傷者に対するトリアージを実施
3	医療処置訓練	トリアージされた患者に対して、医療処置の実施
4	通信訓練	新島村(診療所・村役場)、陸上自衛隊、献血供給事業団、東京都による、応援・搬送調整等に係る模擬通信の実施
5	医療救護班の投入・投入後の指揮命令訓練	診療所職員から応援医療チームに対して、具体的な活動内容を指示
6	後方医療搬送訓練	・搬送が必要な重症患者をヘリ発着地点へ陸上自衛隊救急車、診療所救急車にて搬送 ・自衛隊ヘリ内での医療処置や医療資器材の搬送について検証

### 3 医療救護活動訓練の実施結果

- ① 島内診療所の医師・看護師を中心とした指揮命令系統が確立されており、応援に来た関係機関がスムーズに医療救護活動へ参加できた。
- ② 保健所職員や傷病者役の地元高校の生徒・教職員が参加したことで、地域と一体となった訓練が実現し、防災意識や医療活動への理解向上につながった。
- ③ 後方医療搬送訓練の一環として、陸上自衛隊のヘリコプターに関係機関が同乗する機会を設けたことで、実災害時のヘリ機内での医療救護活動及び血液製剤の搬送の状況を具体的に把握することができた。
- ④ 訓練参加者からは、効率よく動くための動線確保に課題があったという意見や、支援者が現場の状況をすぐに把握できるような工夫が必要という意見があった。今回把握した課題を踏まえ、より実効性の高い医療救護・搬送体制の構築を目指していく。